

教科	地理歴史	科目	歴史総合	履修区分	必履修	使用教科書	東京書籍『歴史総合(002-901)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座教科書DVD

学習の目標

①近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。  
 ②近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
 ③近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。 ●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間(6割減免)まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴票を含む)を全て修了後に受験。
単位修得(認定)に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
P. 7-47 歴史の扉 近代化への問い アジアの繁栄と西洋近代の形成	1	①	Ⅰ・Ⅲ期	2, 3, 4, 5	P. 52-59 P. 92-103	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	結びつく世界と日本の開国に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。
思考・判断・表現	結びつく世界と日本の開国に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 48-81 世界の一体化と多様な近代化 近代化と現代的な諸課題	2	知識・技能	国民国家と明治維新に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	国民国家と明治維新に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 82-107 国際秩序の変化や大衆化への問い 第一次世界大戦と大衆社会	3	知識・技能	国際秩序の変化や大衆化、第一次世界大戦に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	国際秩序の変化や大衆化、第一次世界大戦に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 108-137 経済危機と第二次世界大戦 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	4	知識・技能	経済危機と第二次世界大戦に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	経済危機と第二次世界大戦に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 138-165 グローバル化への問い 冷戦と世界経済	5	②	Ⅱ期	10, 11, 12, 13	P. 118-123 P. 174-175 P. 178-181	知識・技能	連合国の占領政策と冷戦、世界経済に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
思考・判断・表現	連合国の占領政策と冷戦、世界経済に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
P. 166-193 世界秩序の変容と日本 現代的な諸課題の形成と展望	6	知識・技能	世界秩序の変容と日本に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。また、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。					
思考・判断・表現	世界秩序の変容と日本に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。							
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							

教科	地理歴史	科目	地理総合	履修区分	必修修	使用教科書	東京書籍『地理総合(002-901)』 帝国書院『標準高等地図(703)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。  
 ② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。  
 ③ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
面接指導	各期に開講する番号を確認し計画的に出席する。
	●視聴票：面接指導の出席と合わせ、①～②の計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間(6割減免)まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴票を含む)を全て修了後に受験。
単位修得(認定)に当たっての基準	
評価方法	各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導				単位認定 試験	観点別評価	
		開講番号	開講期	視聴票			観点	評価規準
				NHK高校講座	教科書DVD			
P. 7-52 地図と地理情報システム 資料から読み取る現代世界	1	①	Ⅰ・Ⅲ期	2, 3, 4, 5	P. 8-13 P. 22-27 P. 68-73	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	地図や地理情報システムに関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。
P. 53-85 生活文化の多様性と国際理解 生活文化と自然環境	2						思考・判断・表現	地図や地理情報システムについて、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。
							主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
P. 86-116 生活文化と社会環境	3						知識・技能	生活文化の多様性や自然環境に関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。
							思考・判断・表現	生活文化の多様性や自然環境について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。
							主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
P. 117-141 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口問題 食料問題	4	知識・技能	生活文化と産業に関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。					
		思考・判断・表現	生活文化と産業の多様性や自然環境について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。					
		主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。					
P. 142-172 居住・都市問題 民族問題・紛争と平和の構築 持続可能な社会の実現をめざして	5	②	Ⅱ期	12, 13, 14	P. 124-129 P. 146-151 P. 188-193		知識・技能	地理に関わる諸問題に関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。
		思考・判断・表現					地理に関わる諸問題について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。	
		主体的に学習に取り組む態度					地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	
P. 173-213 自然環境と防災 生活圏の調査と地域の展望	6	知識・技能	地理に関わる諸問題や持続可能な社会の実現に関して、世界の多様性や地域の特色、地球的課題への取り組みなどを理解している。地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けている。					
		思考・判断・表現	自然環境と防災、生活圏の調査と地域の展望について、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりすることができる。					
		主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。					

令和8年度 年間指導計画

教科	地理歴史	科目	世界史探究	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『世界史探究(701)』
添削指導回数	12	面接指導回数	4	単位認定試験	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

- 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に際するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
- 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

- 添削指導 提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。  
 各期に開講する講義を履修し計画的に出席する。  
 面接指導 ●視聴講 面接指導の出席を合わせ、公共①～公共②の計2時間となるように提出する。  
 ※視聴録による減点は原則1時間(6割減)まで。  
 単位認定試験 添削指導、面接指導(視聴録を含む)を全て修了後に受験。  
 単位修得(認定)に当たっての基準  
 評価方法 各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導		教科書	教科書の目次	単位認定試験	観点別評価	
		開講期	履修期				観点	評価標準
p.11～55 古代文明の出現 西アジアと地中海周辺	1	①	I・Ⅲ期	2.3.6.11	P.26～ P.30 P.36～ P.39 P.50～ P.55	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	オリエント文明、インダス文明、中華文明などを基に、古代文明の歴史的特質を理解している。
思考・判断・表現	文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目して、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について多面的・多角的に考察し、問いを表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.56～104 西アジアと地中海周辺 南アジア 東南アジア 東アジアと中央ユーラシア アフリカ、オセアニア、古アメリカ	2	②	I・Ⅲ期	14.15.16.19	P.145～ P.150 P.157～ P.191 P.203～ 207	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	アジア・中央ユーラシア・アフリカ・オセアニア・古アメリカの古代文明について、諸資料から読み取り、理解している。
思考・判断・表現	古代文明の歴史的特質について主題を設定して考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.106～144 イスラーム世界の拡大と繁栄 中世ヨーロッパ	3	③	Ⅱ期	24.25.27.29	P.233～ P.236 P.244～ P.248 P.299～ P.302	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	イスラーム世界の成立について、諸資料から読み取り、理解している。西ローマ帝国滅亡後の東西ヨーロッパが、それぞれどのような変容をげたのかについて、諸資料から読み取り、理解している。
思考・判断・表現	キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴について主題を設定して考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.145～166 中世世界の変容とモンゴル帝国 インド洋海域世界の発展と東南アジア	4	④	Ⅱ期	30.31.32.35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.348	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	歴史上かつてない規模の世界帝国であるモンゴル帝国はどのようにして生まれ、どのように世界を結びつけたのかなどについて理解している。インドと東南アジアにおけるイスラームの広がりや一種でなかった要因などについて理解している。
思考・判断・表現	諸地域の交易に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、インド洋海域世界と東南アジアの発展、中国の特徴やモンゴル帝国などを多面的・多角的に考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.167～199 大交易時代と世界の一体化 ユーラシア諸帝国の繁栄	5	⑤	Ⅱ期	30.31.32.35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.348	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	アジア海域での交易の興隆、明と日本・朝鮮の動向、スペインとポルトガルの活動などを基に、諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を構造的に理解している。西アジアや南アジアの諸帝国、清と日本・朝鮮などの動向を基に、アジア諸地域の特質を構造的に理解している。
思考・判断・表現	アジア海域での交易の特徴、ユーラシアとアメリカ大陸間の交易の特徴とアメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。アジア諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、諸帝国の統治の特徴、アジア諸地域の経済と社会や文化の特色、日本の対外関係の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.202～224 主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	6	⑥	Ⅱ期	30.31.32.35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.348	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争、大西洋三角貿易の展開、科学革命と啓蒙思想などを基に、主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を構造的に理解している。
思考・判断・表現	宗教改革の意義、大西洋沿岸諸地域の経済的連関の特徴、主権国家の特徴と経済活動との関連、ヨーロッパ社会や文化の特色などを多面的・多角的に考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.225～258 国民国家と近代社会の形成	7	⑦	Ⅱ期	30.31.32.35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.348	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	産業革命と環大西洋革命、自由主義とナショナリズム、南北戦争の展開などを基に、国民国家と近代民主主義社会の形成を構造的に理解している。
思考・判断・表現	産業革命や環大西洋革命の意味や意義、自由主義とナショナリズムの特徴、南北アメリカ大陸の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.259～297 世界市場の形成とアジア諸国の変容 アジア・アフリカ諸国の統治再編と世界分割の進行	8	⑧	Ⅱ期	30.31.32.35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.348	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	国際的な分業体制と労働力の移動、イギリスを中心とした自由貿易体制、アジア諸国の植民地化と諸改革などを基に、世界市場の形成とアジア諸国の変容を構造的に理解している。第二次産業革命と帝国主義諸国の抗争、アジア諸国の変容などを基に、世界分割の進展とナショナリズムの高まりを構造的に理解している。
思考・判断・表現	労働力の移動を促す要因、イギリスの覇権の特徴、アジア諸国の変容の地域的特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。世界経済の構造的な変化、列強の帝国主義政策の共通点と相違点、アジア諸国のナショナリズムの特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.298～317 第一次世界大戦の展開と諸地域の変容	9	⑨	Ⅱ期	30.31.32.35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.348	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ・ワシントン体制の形成、アメリカ合衆国の台頭、アジア・アフリカの動向とナショナリズムなどを基に、第一次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。
思考・判断・表現	第一次世界大戦と大戦後の諸地域の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互のつながりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連づけたりして読み解き、第一次世界大戦後の国際協定の性格、アメリカ合衆国の台頭の要因、アジア・アフリカのナショナリズムの性格などを多面的・多角的に考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.318～336 国際協定体制の動揺と第二次世界大戦	10	⑩	Ⅱ期	30.31.32.35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.348	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	世界恐慌とファシズムの動向、ヴェルサイユ・ワシントン体制の動揺などを基に国際関係の緊張と対立を構造的に理解している。
思考・判断・表現	世界恐慌に対する諸国家の対応策の共通点と相違点、ファシズムの特徴、第二次世界大戦に向かう国際関係の変化の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.337～362 第二次世界大戦と戦後の東アジア 冷戦の世界化と国際制度	11	⑪	Ⅱ期	30.31.32.35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.348	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	第二次世界大戦の展開と大戦後の国際秩序、冷戦とアジア諸国の独立の始まりなどを基に、第二次世界大戦の展開と諸地域の変容を構造的に理解している。紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。
思考・判断・表現	第二次世界大戦中の連合国による戦後構想と大戦後の国際秩序との関連、アジア諸国の独立の地域的特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。国際連盟と国際連合との共通点と相違点、先進国による経済援助や経済の成長が見られた地域の特徴、第二次世界大戦後の科学技術の高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							
p.363～385 冷戦の変容・終結と経済のグローバル化 21世紀の地球課題と人類社会	12	⑫	Ⅱ期	30.31.32.35	P.319～ P.321 P.332～ P.336 P.343～ P.348	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	冷戦の変容・終結と地域紛争の顕発、アメリカ合衆国の覇権の動揺、資源ナショナリズムの動きと産業構造の転換、アジア・ラテンアメリカ諸国の経済成長と南南問題、経済のグローバル化、原子力の利用などを基に、紛争解決の取り組みと課題、格差の是正の取り組みと課題、知識基盤社会の展開と課題を理解している。
思考・判断・表現	冷戦下の紛争解決と冷戦後の紛争解決との共通点と相違点、紛争と経済や社会の変化との関連性、諸地域の経済格差や各国間の経済格差の特徴、経済格差と政治や社会の変化との関連性、科学技術の高高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。関連づけたりして読み解き、紛争と経済や社会の変化との関連性、経済格差と政治や社会の変化との関連性、現代の科学技術や文化の歴史的特色、第二次世界大戦後の科学技術の高高度化と政治・経済・社会の変化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現している。							
主体的に学習に取り組む態度	歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。							

令和8年度 年間指導計画

鹿児島県立高等学校 通信制課程						
教科	地理歴史	科目	日本史探究	履修区分	必修	使用教科書
添削指導回数	12	面接指導回数	4	単位認定試験回数	1	副教材等
						東京書籍『日本史探究(701)』 NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

- 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

- 添削指導 提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。
- 添削指導 各期に開講する講義を履修し計画的に出講する。
- 面接指導 ●視聴覚 面接指導の出発を合わせ、公共①→公共②の計2時間となるように提出する。  
※視聴覚による減価は原則1時間(5割減価)まで。
- 単位認定試験 添削指導、面接指導(視聴覚を含む)を全て修了後に受験。
- 単位修得(認定)に当たっての基準
- 評価方法 各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名(教科書ページ)	添削指導No.	面接指導		履修区分	教科書のP.	単位認定試験	観点別評価	
		開講期	履修期				観点	評価基準
p.7~40 先史社会の生活と文化 歴史資料と先史・古代の展開 古代社会の形成と展開	1						知識・技能 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成、先史社会の特色を理解している。先史・古代の特色を示す適切な歴史資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。	思考・判断・表現 先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
p.41~64 平城京と天平文化 摂関政治と貴族文化	2	①	I・Ⅲ期	1,2,3,4	P.14~17 P.38~43 P.80~ P.84		知識・技能 「奈良時代にはどのような政治がおこなわれたのだろうか」などの課題について、複数の資料を活用し、学習上の課題につながる情報を適切かつ効果的に読み取っている。貴族政治の展開、平安期の文化、地方支配の変化や武士の出現などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、律令体制の再編と変容、古代の社会と文化の姿容を理解している。	思考・判断・表現 「天平文化の国際性は、どのような要因によってもたらされたのだろうか」などの課題について、中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して考察し、その結果を表現している。地方の諸勢力の成長と影響、東アジアとの関係の変化、社会の変化と文化との関係などに着目し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
p.65~97 中世社会の成立 歴史資料と中世の展望 武家政権の成立と朝廷	3						知識・技能 中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。中世の特色を示す適切な歴史資料から、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。武家政権の成立と展開、皇室の衰退、宗教や文化の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、武家政権の伸張、社会や文化の特色を理解している。	思考・判断・表現 中世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
p.98~122 武家支配の広がりや国際交流	4						知識・技能 武家政権の変容、日明貿易の展開と琉球王国の成立、村落や都市の自立、多様な文化の形成や融合などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、地域権力の成長、社会の変容と文化の特色を理解している。	思考・判断・表現 社会や経済の変化とその影響、東アジアの国際情勢の変化とその影響、地域の多様性、社会の変化と文化との関係などに着目して、主題を設定し、中世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
p.123~139 近世社会の形成 歴史資料と近世の展望	5	②	I・Ⅲ期	5,6,7,8	P.98~ 101 P.128~ P.131 P.156~ P.159		知識・技能 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、中世から近世への時代の転換を理解している。近世の特色を示す適切な歴史資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。	思考・判断・表現 村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流の影響などに着目して、中世から近世の国家・社会の姿容を多面的・多角的に考察し、表現している。歴史資料の特性をふまえ、資料を通して読み取る情報から、近世の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。
p.140~165 幕藩体制の確立	6						知識・技能 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解している。	思考・判断・表現 織豊政権との類似と相違、アジアの国際情勢の変化、交通・流通の発達、都市の発達と文化の担い手の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
p.166~186 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺	7						知識・技能 産業の発達、飢饉や一揆の発生、幕府政治の動揺と諸藩の動向、学問・思想の展開、庶民の生活と文化などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解している。	思考・判断・表現 社会・経済のしくみの変化、幕府や諸藩の政策の変化、国際情勢の変化と影響、政治・経済と文化の関係などに着目して、主題を設定し、近世の国家・社会の変容について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
p.187~213 近代社会の幕開け 歴史資料と近現代の展望 近代の制度の導入と新しい国際関係	8	③	Ⅱ期	16,17,18, 19	P.176~ 179 P.190~ 197 P.204~ 205 P.218~ 223		知識・技能 対外関係の変容と開国、幕藩体制の崩壊と新政府の成立などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近世から近代への時代の転換を理解している。近代の特色を示す適切な歴史資料を基に、資料から歴史に関わる情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。明治維新、文明開化の展開、学問の発展や教育制度の拡充、自由民権運動などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近代の制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解している。	思考・判断・表現 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化、政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、近世から近代の国家・社会の姿容を多面的・多角的に考察し、表現している。アジアや欧米諸国との関係、地域社会の変化、欧米の思想・文化の影響、教育の普及とその影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
p.214~239 国民国家と資本主義の成立	9						知識・技能 大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、産業革命の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解している。	思考・判断・表現 産業の発達の影響と影響、地域社会における労働や生活の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、近代の政治の展開と国際的地位の確立、日本の工業化の進展、近代の文化の形成について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
p.240~269 周大戦開期の日本 第二次世界大戦と日本	10						知識・技能 第一次世界大戦、社会運動の動向、政治政策などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、大衆社会の形成、アジアと欧米諸国との関係の姿容を理解している。軍閥の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の姿容を理解している。	思考・判断・表現 産業の発達の影響と影響、地域社会における労働や生活の変化、戦争が及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、第一次世界大戦前後の対外政策や国内経済、国民の政治参加の拡大、日本の工業化の進展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
p.270~p.291 占領と改革	11	④	Ⅱ期	20,21,22, 23	P.262~ P.265 P.268~ P.273 P.280~ P.283		知識・技能 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解している。	思考・判断・表現 第二次世界大戦前後の政治や社会の転換と相違、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦前と戦後の国家・社会の姿容、戦後政治の展開について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。
p.292~p.321 国際社会への復帰と高度経済成長 アジア情勢の変化と経済大国 新しい国際秩序と日本の課題 現代の日本の課題の探究	12						知識・技能 平和条約と独立の回復、高度経済成長などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、我が国の再出発後の政治・経済や対外関係を理解している。	思考・判断・表現 冷戦の影響、国民の生活や地域社会の変化などに着目して、主題を設定し、戦後政治の展開、日本経済の発展について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の展開などを根拠を示して表現している。

全課程から問題を選出し、出題する。

令和8年度 年間指導計画

鹿島学園高等学校 通信制課程

教科	地理歴史	科目	地理探究	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『地理探究(701)』
添削指導回数	12	面接指導回数	4	単位認定試験	1	副教材等	NHK高校講座 教科書DVD

学習の目標

- ① 地球的な視野から地理的事象の空間的な規則性、傾向や関連する課題の発生要因を捉える学習を通して、現代世界の諸事象の地理的認識を深めるとともに、系統地理的な考察方法を身に付ける。
- ② ①をふまえ、選択した地域の諸事象について捉える学習を通して、現代世界の諸地域の地理的認識を深めるとともに、地誌的な考察方法を身に付ける。
- ③ ①、②をふまえ、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や持続可能な国土像の在り方を構想する学習を通して、現代世界における日本の現状と望ましい将来像についての認識を深めるとともに、主体的な学習活動である探究の手法を身に付ける。

学習に取り組む際の注意事項

- 添削指導 提出期間に間に合うように提出する(タブレットは1枚ずつ、紙は6枚ずつ)。  
 各期に開講する講義を履修し計画的に出席する。  
 ※履修票による減価は原則1回(5割減価)まで。  
 面接指導 面接指導(視聴覚を含む)を全て修了後に受験。  
 単位取得(認定)に当たっての基準  
 評価方法 各單元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

單元名(教科書ページ)	添削指導 No.	面接指導		履修票	教科書の頁	単位認定試験	観点別評価	
		開講期	履修期				観点	評価規準
p.12~33 世界の地形	1						知識・技能	人間の生活の基盤である地形の重要性について認識するとともに、それを空間的規模と形成要因、人間生活との関係に着目しながら理解している。
p.34~57 気候と自然環境 気候と人々の生活	2	①	I・Ⅲ期	1,4,5,7	P.14~17 P.38~43 P.80~ P.84		知識・技能	地球規模でみられる気温と降水量の分布の特徴とそれが生じる原因についての理解を踏まえ、気候の特徴について理解している。気候の特徴となる気温と降水量の地域ごとの違いについて、各々の気候の自然環境の特徴を踏まえて認識するとともに、人間生活との関係について理解している。
p.60~77 日本の自然環境と自然災害 世界の環境問題	3						知識・技能	日本の自然環境の特徴について地形と気候の視点から理解するとともに、今後発生する可能性のある自然災害について整理する。地球規模での環境問題が深刻化している背景・要因について多面的・多角的に理解している。
p.80~103 産業の発展と社会的分業 農林水産業 食料問題	4						知識・技能	産業の高度化に伴い社会的分業が複雑化し、地域的分業として表れていることを把握するとともに、それが地球規模で広がっていることを理解している。農林水産業の立地とその形態について地域性と関わりから把握するとともに、アグリビジネスの活動が環境を超えて産地と消費地とを結び付けていることを理解している。世界の食料供給の地域的な偏りについて把握するとともに、食料問題を生み出す背景について理解している。
p.104~141 エネルギーと資源 資源・エネルギー問題 工業の立地と工業地域の変容 第三次産業	5	②	I・Ⅲ期	10,12,14,15	P.98~ 101 P.128~ 131 P.156~ P.159		知識・技能	資源の分布と消費の地域的な偏りが国際取引を成立させていることを踏まえた上で、各国の掲げる資源ナショナリズムやエネルギー政策の違いが国際対立の一因になっていることを理解している。化石燃料の枯渇を深慮し、再生可能エネルギーの普及を促していること、地球温暖化の緩和やエネルギーの安全確保、第三次産業の発展や変化について把握するとともに、流通産業の発達や情報通信産業の集積、医療・福祉産業の国による違いに着目しながら、それらの現代的な位置づけ・課題について理解している。
p.142~157 交通・通信 貿易と経済連携 観光	6						知識・技能	交通・通信の発達による世界の結び付きの現状について多様な手段の特徴や地域特性と関連づけて把握するとともに、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。貿易の発達による世界の結び付きの現状について多様な手段の特徴や地域特性と関連づけて把握するとともに、交通・通信の発達により生じる問題の背景・要因、解決に向けての取り組みについて理解している。
p.158~167 人口 人口問題	7						知識・技能	人口分布と人口増加の地域的傾向について把握するとともに、それらに影響を与える人口転換や人口移動について理解している。発展途上国と先進国各々が抱えている人口問題について多面的・多角的に理解する。
p.168~185 村落・都市 居住・都市問題	8	③	Ⅱ期		P.176~ 179 P.196~ 197 P.204~ 205 P.218~ 223		知識・技能	村落・都市の機能や形態、分布の特徴、都市システム・都市内部の機能分化や大都市圏の発展過程について多面的・多角的に理解している。発展途上国と先進国各々の都市・居住問題への対応による新しい都市の動きや日本の都市が直面している課題について理解している。
p.186~208 生活文化の地域性 民族・言語・宗教 民間問題 現代の国家と領土問題	9						知識・技能	文化と環境との相互関係や文化が変容する理由について把握するとともに、衣食住などの生活文化が環境との相互作用の中で形成され、歴史的に定着することを理解している。文化と環境との相互関係や文化が変容する理由、民族・言語・宗教の相互関係について把握するとともに、文化としての多様性について理解している。
p.209~227 東アジア	10						知識・技能	中国と韓国を中心に、東アジアの産業や地域格差、文化などのさまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。
p.228~255 東南アジア 南アジアと中央アジア 北アフリカとサハラ以南アフリカ	11	④	Ⅱ期		P.262~ 265 P.268~ 273 P.280~ 283		知識・技能	東南・南・西アジアと中央アジアにおける工業化の進展や地域格差など、さまざまな事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。北アフリカとサハラ以南アフリカの両地域における地理的事象の共通点と相違点に着目しながら、各々の地域の特徴について理解している。
p.256~293 ヨーロッパ ロシア アジア アフリカ オセアニア 日本の地理的諸課題を読み解く	12						知識・技能	ヨーロッパの地域統合に着目して、産業や都市の変化、地域格差などの地理的事象を関連づけることを通じて地域理解を深めている。ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察することを通して地域理解を深めている。ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。ロシアにおける民族や人々の暮らしの変化、産業地域の変化など、さまざまな地理的事象を項目ごとに整理して考察している。

全課程から問題を出し、出題する。